

令和5年度対馬市しまのみらいづくり懇話会会議録	
1. 開会日時	令和5年10月11日（水）午後2時
2. 場所	対馬市役所 豊玉庁舎 3階大会議室
3. 出席委員	10/17名
4. 出席者	<p><市長、部（局）長・担当者></p> <p>市長、総務部長、しまづくり推進部長、観光交流商工部長、市民生活部長、福祉部長、保健部長、農林水産部長、建設部長、水道局長、中対馬振興部長、上対馬振興部長、教育部長、消防長</p> <p><事務局></p> <p>政策企画課長、政策企画課職員4名</p>
5. 会議書記	政策企画課職員
6. 閉会日時	令和5年10月11日（水）午後4時
7. 確認事項	<p>○司会進行：政策企画課長</p> <p>令和4年度 対馬市しまのみらいづくり懇話会の振り返り</p>
8. 議事	<p>○議長：市長</p> <p>○司会進行：政策企画課長</p>
議題1	対馬市のデジタル化の取組みとSNSの推進について
議題2	ゴミの不法投棄及び不法投棄防止の取組みについて
議題3	島内のリサイクルやアップサイクルの取組みについて
議題4	子供へのふるさと教育に求める成果について
議題5	中学校の部活動について
その他	

<p>政策企画課長</p>	<p>ただいまより令和5年対馬市しまのみらいづくり懇話会を開催いたします。</p> <p>私は本日の進行をさせていただきます、しまづくり推進部政策企画課長の梅野と申します。</p> <p>どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>会議に入る前に、まず本日の資料の確認をさせていただきます。配布資料は事前に送付しておりましたが、皆さんお持ちでしょうか。それから、本日座席の方に配付しております、座席表、それから市役所の出席者一覧、最後に、今回のアンケート用紙がございます。</p> <p>全てございますでしょうか。</p> <p>アンケート用紙につきましては、会議終了後、受付の方にご提出いただければと思います。</p> <p>もし資料が不足している方がいらっしゃいましたら挙手願います。</p> <p>いらっしゃいませんか。</p> <p>ないようですので、次に進めていきたいと思います。</p> <p>次に、委嘱状の交付についてですが、本来ならお1人ずつ交付すべきところではありますが、今回につきましては、各委員の机上への配布に代えさせていただいておりますので、ご了承いただきますとともに、ご確認の程よろしくお願いいいたします。</p> <p>委員名簿につきましては、配布資料の2ページに掲載しております。</p> <p>なお、本日の欠席の委員につきましては7名から欠席の連絡が入っております。</p> <p>それでは会議次第に沿って進めてまいりたいと思います。</p> <p>まず、本懇話会の開催に当たりまして市長がご挨拶を申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>皆さんこんにちは市長の比田勝でございます。本日は大変ご多忙の中、令和5年度対馬市しまのみらいづくり懇話会にご参集いただきまして誠にありがとうございます。</p>

開催に当たりまして一言ご挨拶を申し上げます。委員の皆様方におかれましては日頃より対馬市政の運営につきまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに心からお礼を申し上げます。

さて、今年3月からはマスクの着用は個人の判断となり、5月には新型コロナウイルスが第5類に引き下げられたところでございます。対馬市におきましても国内外からの観光客が増加傾向にありまして私はですね、昨日、一昨日も比田勝の方に行ってきました。昨日も実は関西の方から関西経済同友会の皆様方30名ほど対馬にいらっしゃいました。その方たちといろいろな意見交換等をしてまいったところでございます。特に今対馬で大きな話題となっております、海ゴミ関係をいかに利益に繋げるかといったようなですね、ことを意見交換としていろいろ協議をしてみたところでございます。

しかしながら、対馬の地域経済におきましては、まだまだコロナ禍の影響が後を引いておりまして、約1年間続くウクライナ侵攻によります物価やエネルギー価格の高騰が市民生活に大きな影響を与えているところでございます。従いまして、この回復に向けた継続的な支援が必要となっているところでございます。

本市といたしましても、生活の維持回復、事業者の事業継続の一助となるよう様々な施策を実施しているところではあります。今後も引き続き安心な日常生活、活力のある社会経済活動を取り戻していくことができるよう、一丸となって取り組んでまいりますのでご理解とご協力をよろしくをお願いいたします。

懇話会は年1回程度の開催としておりますが、今後も皆様のような若い世代に焦点を当てた政策を展開することで、若者を中心に対馬がにぎわう、魅力あるまちづくりを進めてまいりたいと思っておりますので本日は忌憚のない活発なご意見を賜りますよう、お願いを申し上げまして、開会に当たっての挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお願いたします。

政策企画課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日もご出席いただいております委員の皆様につきましては、本年8月1日付で改選となっております。委嘱は改めてさせていただいておりますので委員の皆様より一言ずつ自己紹介を兼ねてご挨拶をお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
<h3>各委員自己紹介</h3>	
政策企画課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、市役所の各部長の皆さんのご紹介をさせていただきます。</p>
<h3>各部長自己紹介</h3>	
政策企画課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続けて事務局の政策企画課職員を紹介させていただきます。</p>
<h3>事務局自己紹介</h3>	
	<p>以上で自己紹介を終わらせていただきます。</p> <p>次に、次第の3、確認事項に移ります。令和4年度対馬市しまのみらいづくり懇話会にて、頂戴いたしましたご意見に対する回答とその後の市の取り組みについて確認いたします。</p> <p>会議資料の3ページから5ページにかけて掲載をさせていただいております。事前に資料をお送りしておりましたので、この場での説明は割愛させていただきますが、記載内容についてご意見ご質問等ございましたら、挙手をお願いいたします。</p> <p>なかなか急にふられて意見を出してくださいといっても難しいと思います。今のところご質問がないようですので、また最後のその他の時にでもご質問があればお願ひをしたいと思います。</p> <p>それでは、次第の4、意見交換に入りたいと思います。</p> <p>今回の議題は5件ありますので1件あたり15分程度で進めていきたいと思います。本懇話会設要綱第4条第3項の規定により、市長が議長を務めることになっておりますので、市長に議事の進行をお願いしたいと思います。</p> <p>市長よろしくお願ひいたします。</p>

<p>市長</p>	<p>規定に基づきまして本日の議長を務めさせていただきます。皆様方のご協力をよろしくお願いをいたします。</p> <p>それでは、本日の議題に移りますが、今回の懇話会につきましては事前に各委員よりご提出いただきました、ご質問等に対しまして意見交換を行う形、市役所側からの提案の両方の形としております。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>まず、議題1の「対馬市のデジタル化の取り組み状況とSNSの推進について」を議題といたします。担当部署より説明をお願いします。</p>
<p>総務部長</p>	<p>対馬市のデジタル化の取り組みとSNSの推進についてですが、これは部署がまたがりますので、まず総務部所管の市の情報発信について、私から説明いたしたいと思います。</p> <p>対馬市の情報発信は、ご承知のとおり対馬市ホームページ、防災行政無線、ケーブルテレビ等への各種情報の発信を行っており、またSNSを活用した発信として、LINE、Facebook、インスタグラムを運用し、様々な行政情報を発信しております。</p> <p>ホームページは令和3年4月にリニューアルし、内容を一新するとともに、イベント情報等についてはマニュアルを作成して各所管部署がそれぞれ更新を行うようにしております。</p> <p>また、SNSの発信業務については発信情報の通知も含めまして、総務課で一括して処理しております。</p> <p>SNSの9月30日までの登録者数はLINEが8,189件、Facebookが436件、インスタグラムが2,293件となっております。</p> <p>私からは以上です。</p>
<p>しまづくり推進部長</p>	<p>デジタル推進については、私の方から説明させていただきます。資料の9ページから21ページまで資料を添付しておりますが、これは対馬市がDX推進計画を定めておりまして、その概要版を今回抜粋しております。詳しい内容につきましては市のホームページにももっと詳しく掲載しております。なかなか長い文章ばかりですので非常に見にくいとは思いますが、時間のあるときでもご覧いただければと思います。</p>

	<p>この概要版の大きな柱としては三つの方向性を定めております。一つ目が市民が便利さを実感できるDXの推進、二つ目に市民が豊かな暮らしを実感できるDXの推進、三つ目に行政サービスの継続性を保つためのDXの推進の三つの大きな柱を掲げております。</p> <p>しかしながらこれはまだ令和4年10月に定めた計画でございます。今のところは国の方針としまして令和7年度末までに自治体の情報システムの標準化、共通化を優先することが定められておりますので、これを受けてまずは自治体のDXを進めているところでございます。</p> <p>それと並行しながらも市単独でのDX推進ということで、例えば今LINEの登録者の報告がありましたけれども、LINEで簡単な窓口申請ができたとか、そういったことも並行しながら進めてはおります。</p> <p>まだ始まったばかりですので、これから徐々に広げつつ頑張っていきたいと思っておりますし、ただ対馬も、皆さんご存知のとおり高齢化率も高いということで、なかなかDX, DXといっても市民の皆さん全てが対応できるかといえそうではない部分もあろうかと思っておりますので、その高齢者に向けてのスマホの使い方の講習とか、そういったことも年に数回定期的にやりながらDXを進めていきたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
市長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それではただいまの説明に対しましてご意見、ご質問等がある方は挙手をお願いいたします。</p>
委員	<p>この市のDX計画なんですが、このDXを実行することによって現在の業務が何%ぐらい減るといふふうに考えていらっしゃいますか。</p> <p>例えばAIの話だと、49%の仕事がなくなるというのが7年前くらいから言われてきてますが、このDXを実行することによって今市役所の職員の皆さんが抱えてる仕事が大体どれぐらい楽になるのかというところを考えていただければと思います。</p>
しまづくり推進部長	<p>きちんと数字まではまだ説明できるところにはなっておりませんが、DXって言っても何もかもアナログからデジタルにする</p>

	<p>のではなくて業務改革も必要と考えておまして、一つは今、市職員でないとできないものもあると思いますし、市外に発注できるものもあると思います。</p> <p>そういったところ、今横文字で言えば、BPRのようなやり方で業務改善を含めたところのDXっていうところを考えておりますので、まず数値的なものはまだ出せませんが、業務改革と並行しながらDXを進めていくというような考え方でやっております。</p>
委員	<p>そのDXとかデジタル化っていうのを考えたときに何か良い例えがないかなと考えたのですが、洗濯機に例えられるのかなと。今まで昔二層式だったりとか、それこそ手回しでしていたのが、今やボタン一つで、洗濯から脱水、乾燥までできる、と。そうなるとその間にやらなきゃいけなかったことをしなくて良くなるっていうのがDXというか、デジタル化の本質だと思うんですよ。</p> <p>そうなったときに今度は、行政の職員さんたちが、その、今はエクセルで、例えば手入力が無くなったときに、どう動くかを、そこをゴールとして考えていただきたい。その空いた時間で自分たちが今度は何ができるかっていうのを考えて行った方がいいんじゃないかなと思います。</p> <p>この概要版でもテレワークの推進というのはありましたけど、確かに今日いろんなところからここに来るんで皆さんだと1時間、私だと雑知から30分~40分くらいかかって来てる。</p> <p>これが例えば、それこそメタバースだったりとか、今で言うテレワーク、テレビ会議とかになると、それが0時間。皆さんもいろんな部署から来られてるんでそれが来なくていい時間っていうのが出てくるっていうところがやっぱり一番の対馬でいうたらメリットだろうっていうところと、そのテレワークも、その家ですとかっていうよりもどちらかという、今度は逆に役所にいた人たちが地域に出てって、地域でおっちゃんおばちゃんと話しながら業務をやってみても良いかと思うんです。いろんな物事を解決できる時間の使い方っていう観点でDXを考えてみても良いのではないのでしょうか。</p> <p>あとは、情報の共有化について、総務部で上がった情報が農林水産の方に行って、うまく仕事が回るみたいに。例えば教育関係</p>

	<p>で子供たちから聞いたことがすぐいろんなところの部署に提案できるとかいうふうに同時進行で進めていかないといけないと思います。</p> <p>今、国が進めていることってハードをとにかくやれっていう話なんですけど、対馬市でできるソフトの部分っていうのを同時進行で考えていく必要があるんじゃないかなと思ながらこの資料を読まさせていただいたところです。</p> <p>以上です。</p>
しまづくり推進部長	<p>はい、ありがとうございます。今、委員からいただいた、そういった市民の声を吸い上げながら、そして地域性もやっぱりあると思いますので、そういったことも考慮しながら、そして、今年度から今DXっても私みたいな高齢者がなかなか、正直ついていけない部分もありますので、市の職員の中でも主事級といえますか20代30代前半の若い職員に各部から数名ずつ出してもらって、そしてその対馬市に合った、市内部を含めたどういったことでやっていく方がいい形になるのか、といったところの組織を今作って今年度からやっていますのでそういったところの意見を吸い上げながら、実行に移してしていきたいというふうに思っておりますので今後ともいろいろ助言等いただければと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p>
市長	<p>はい、私から少し補足をさせていただきますけれども、このDX、デジタルトランスフォーメーション、これ先ほど委員の方からもご意見がありましたように、言葉ではDXとかデジタルトランスフォーメーションとか言いますが、あの実質はこれは変革のことなんですよね。</p> <p>先ほど委員の方が、洗濯機の例えで昔の二層式から今ボタン1つの自動洗濯機、乾燥まで含めた話がありましたが、それと全く一緒に、中身はこの変革を目指す、こういうことですから内容的には、非常に広い意味合いで進めていかなければならないというふうに私自身も思っておりますし、そしてこのDXを進めていくためにですね、今KDDIの専門家の方にマネージャーになっていただいて、進めております。</p>

	<p>先ほど部長も申しましたように、なかなか、これやっぱり専門家じゃないと難しいものがあるものですから、それぞれで専門家を中心にいろいろご指導していただきながら対馬市のデジタルトランスフォーメーションをこれ以上に進めるということで進めておりますので今後またいろいろ見ていただきたいなというふうに思います。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>すいません。あと観光事業者として一つデジタル化の話になるんですけど、ぜひ各公民館とかその出先（機関）だったりとかにWi-Fiを設置していただきたいと思います。</p> <p>厳原公民館には設置してありますけど、要はテレワークセッションとかって話になったときにみんなで集まるところがどこにもなかったらやっぱり公民館とか、集会所とかになるんですけど、そこでWi-Fiがあるかないかっていうのは、多分テレワークを考えている島外の人にとっては死活問題だと思うし、全島の方の集まりの機会となる場所について行政としても、例えば端末というか、インターネットができる場所を増やしていただきたいというところをお願いしておきます。</p>
市長	<p>今のは要望という形でよろしいでしょうか。他にご質問等はありませんでしょうか。</p>
委員	<p>それで今の要望に加えてなんですけど、U・Iターンとしての参加なんですけど最近U・Iターンの形もすごくいろいろあるなと思っていて、私なんかもうガッツリここにいるんですけど、2拠点移住される方も最近増えてきてますし、特に対馬って、1次産業とかに携わらないとか民間企業の少ない方なので、結構オンラインで仕事をされる方が2拠点してたりとか、が増えてきているなという印象があります。</p> <p>やっぱり、みんな気にされるところは、そのデジタル化とか、車とか走っても圏外だったりとか、いざどっかでリモートワークしようと思っても、カフェは最近増えてきてはいるんですけども、やっぱり環境がまだまだ他の魅力的な移住先の離島とかに比べるとまだ少ない状況というのは認識をしていて、意見だけなんですけど、そういった意見もU・Iターンの視点からは、あるなと思います。</p> <p>魅力的になるためにもうちちょっとそういう場所が増えたらいいなと私も思います。</p>

<p>市長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>ほかにご意見等ありませんでしょうか。質問等ないようでございますので時間の関係もありますので次に行きたいと思います。</p> <p>次の議題で「ゴミの不法投棄及び不法投棄防止の取り組みについて」を議題といたします。担当部署より説明をお願いします。</p>
<p>市民生活部長</p>	<p>それでは、市民生活部より説明をさせていただきます。</p> <p>質問の内容が、陸上のゴミの清掃については、国道、県道沿いでゴミが1キロ以上落ちていない道はない。漂着ゴミがよく、スポットを当てられて、ゴミ拾いボランティアがスポット的にゴミ拾いを行って来ていますけれども、日常的にゴミを意識する機会を広く島民にすることはできないでしょうかというご質問でありました。</p> <p>SDGs推進課の方とも関連するかと思いますけれども、市民生活部の環境政策課としても所管となりますので、簡単ですがご説明をさせていただきます。</p> <p>一つの回答といたしまして現在不法投棄の防止については、市役所それから保健所、警察、海上保安部等が連携して不法投棄監視合同パトロールをやっております。合わせて対馬市のCATVの「教えて市役所さん」とか市報におきましては、毎年ことあるごとに啓発を行っておりますけれども、やはりこのご質問のとおり、一部心無い方による動きが今も後を絶たないということに苦慮されてのご質問だと思います。</p> <p>もう一つは海岸漂着ゴミのことですけれども、ここの部分の発生抑制対策ということで、事前にゴミが海岸に影響しないようにということで、今現在、パトロールの方々を4名雇用して、普段から島内を公用車の軽トラックで2班にわかれて監視活動と、それから回収活動を行っていただいているということでもあります。</p> <p>今後、我々がどうこういったことを広くお知らせするのかということですが、一つは改めてCATVとか市報の掲載回数を増やすとか、もう少し姿勢を変えた作り込みで市民の方にお見せするということ。</p>

	<p>それから、市の公式LINEでも徹底したお知らせをする、そして今、各地区の家庭のゴミ収集をしてもらってますけれども、そういった業者の方々の収集するパッカー車に不法投棄防止等のステッカーを大きく貼ってもらって、意識啓発をするとか、不法投棄防止の看板を各区長さん方と相談して各地区積極的にお配りして立ててもらおうとか、そのようなことで、さらに今後もその啓発については根強くやっていくということを我々は思っております。</p> <p>以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それではただいまの説明に対しましてご意見、ご質問等はありませんでしょうか？</p> <p>この問題は、議会の一般質問の方でも取り上げられるんですが、ただ議会の中では韓国のサイクリングの方が途中で弁当食べてそのゴミを途中で捨ててるんだというような言い方をされますけれども、その韓国のサイクリングの方々より、むしろ島民がそれしてるのではないかなという思いも持っています。</p> <p>ですから、お互いが気を付けなくちゃならない。まして、そのゴミ対策にゴミ箱を置いたらどうだという話もあるんですけど、ただゴミ箱を置けば置いたで、今度はゴミを家に持って帰らないでそこに突っ込んでいく。今度はそのゴミをカラスとか猫とかが荒らし、また飛散をして苦情が出るという思いを持っておりますので、この問題は非常に難しく、どうしたらいいかなと思っております、我々も最善策を今検討しているということでもあります。</p> <p>皆さんの中でもこうしたらどうなのかなというようなご意見等があればこういう場ですから、お聞きしたいなと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>市議会の話でいけば、コロナ禍になったらゴミは0になってたはずですよ。それはなっていないということは、今それは島民が捨てているという話であって、生活道路や観光客が来ないようなところにわんさか捨ててあるわけです。</p> <p>やっぱりその部分って、ある一定の人が捨ててると思うので、その人たちにどう訴えかけていくか。</p>

	<p>今回回収されてる4名の方が、そのゴミを日々アップしていくしかないのかなとSNSとかで、これだけのゴミが捨ててあるというところを出していくしかないのかなと。本当に道路際にビールの缶が捨ててある、私も何度か取材してますけど。</p> <p>やっぱそうやって見える化していくしかないです。</p>
市長	委員
委員	<p>すいません。私も対馬に移住してきて山とかに結構家電ゴミとか捨てられてるってことに驚いたんですけど、一方で島の方々の景観作りの意識とかはすごいなと思っていて、見られている場所はちゃんとしようとか、自分の土地ならちゃんとしようという意識は皆さんあると思うんですけど、見えないところにちょっと隠して捨てるみたいな結構驚きで。</p> <p>それってなんでなんだろうと思ったときに私もよくわからないんですけど、捨てる所がわからないのか、面倒くさいからなのか、それ次第によっても変わってくるのかなと思うんですけど。やっぱそれがいけないことだという、罰金までしなくてもそれがいけないことなんだっていう意識の問題だと思うので、それをメディアとかを通して、CATVだと結構ご年配の方が多と思うんですけど、想像するにどこに持っていったらいいかわからない、お金がかかるとかって思うんですけど、CATVとかだと結構いろんな幅広い世代が見られてるので訴えていくしかないのかなあと。</p> <p>あと一個、驚いたのが結構生き物に対して、結構皆さんそのとおりというか、川に流されたりとかいう話を聞いて私それが一番衝撃的だったんですけど。</p> <p>島に来て結構いろんな方から話を聞くのでそういった全体の意味も含めて意識ですね、特に対馬は自然との共生の島とか結構PRの顔としてはそういう訴えで出しているの、そこら辺の意識づけをもっとできるように情報発信しまくるしかないのかなと。</p> <p>すいません長くなって、とりとめもないんですけど。</p>
市長	<p>ありがとうございます。ではほかにご意見等ありませんでしょうか。</p>
委員	<p>はい。僕がテレビでちょっと見たんですけども、ゴミを捨てるときに嘘でも道沿いに鳥居があったら、捨てない、と。神様の。</p>

	道沿いに点々とあったらその場には捨てないと。鳥居がないところに捨ててると。
委員	昔電柱とかに書いてあったんですよね。小便を避けるために何かそういう、町の中であつたりとか。
委員	小さい鳥居だからコストもかからないし。
市長	あの確かにですね。琴から舟志に抜ける市道の堂坂線の途中にですね、高さが50センチぐらいの赤い鳥居が道路の横にあるんですよ。私も、なんでここにこういう鳥居が置いてあるかなといつも思っていました。 ゴミの不法投棄防止のためだったかな。 それは一つの参考意見として。
委員	環境政策課の方で小中学生からゴミとかに関する標語を集めて、最終的には確か広報とかに載るんですけど、なんかそれじゃもったいないかと思つて、そういった子供たちが考えて、市の方でいいねってされた分を看板にしたりとか、結構子供たちの意識はあるんですけど、それが大人に伝わってないところ、大人だったり年配の方だったりってところがあるのかなと思うので、そういった意識がいろんな世代に広まっていくのは、形も途切れないのかなと。
市長	はい、ありがとうございます。他にご意見ございませんでしょうか。 ご意見もないようでございますので、それでは次の課題の「島内のリサイクルやアップサイクルの取り組みについて」を議題といたします。担当部署より説明をお願いします。
市民生活部長	はい、引き続きまして市民生活部の環境政策課の議題ということで説明をさせていただきます。 リサイクルという言葉は、我々もある程度聞きますけども、アップサイクルというのは私もちょっとすいません、まだホヤホヤで勉強不足で調べてきたばかりなんですけども、アップサイクルというのはですね、原料をいろいろ元に戻したりすることもなく、そのままの状態で付加価値をつけて使って利用するというような意味だそうです。 古くなったものや廃棄後にも新しい価値を見いだすように何かに、プラスアルファに使っていく、そのものを溶かして中の原料

を取り出してどうかじゃなくて、その形あるものを価値あるものに大きくしていくのがアップサイクルという言葉らしいです。

それを基に回答させていただきます。

一般資源ゴミのうち、ペットボトルとか瓶は日本容器包装リサイクル協会というのがあります、そちらの方に売り買いをいただいているということです。その引き取った中の質がいいものであれば、その協会自体も関係のところに売却いたしますので、いいものであればその分についてはキックバックについては市のほうにも帰ってきております。

それから金属類とかは、鉄くずの回収業者の方にこれも有価物として販売をさせていただきとります。

その他海岸漂着ごみでは、廃プラスチックをペレット化して、そのうち、例えば海岸に流れていますあの青いポリタンクですけれども、こちらの方をいわゆる小さくチップ化して、1立方メートル毎にしたものを販売をしているということです。

これが活用されるのは大手の総合商社であります伊藤忠商事さんでありますとか、環境問題に力を入れている、そういう環境に対する専門業者であります、ここで言いますセイコーインターナショナルさんとかそういう会社が出てまいりますけれども、そういったところに1キロ当たり1円（税別）ですけれども、こういった形で販売をしているということです。

そして販売したペレット状のものがどうなっているかという、例えば対馬のファミリーマートにも置かれてるそうですけれども、買い物かごなどでありますとか、コンテナ用のボックスであったり、リングスターという会社があるそうです。そのレジジャーボックスであったり。パタゴニアという世界的なアウトドアファッションの会社、そういったところがフリスビーを作ったり、そのフリスビーは今全部成分がそのプラスチックの再利用でできているということで、販売もそろそろみたいなことも聞いてます。

	<p>それから、パイロットのボールペンでありますとか、当初平成30年にはテラサイクルジャパンという会社が、海洋ペットボトルを4万kgほど購入していただきまして、それをよく聞きますP&Gのジョイという洗剤の会社で、その容器として、これを約55万本のリサイクルとして作ってくださってるというようなことを聞いております。</p> <p>その他にも、博多大丸さんといろんな提携を対馬市でやっておるんですけども、昨年12月には福岡の方で、そのクリスマスツリーに飾りとして対馬市の海岸に漂着した発泡スチロール等を使って飾り付けをして、それをアップサイクルという形でPRをしています。本年度もその形でまた違う形ですけども、利用してエルガーラ通りで、そこで市長も行かれてそこでイベントがあるということでもあります。</p> <p>以上です。</p>
市長	<p>はい、ただいまの説明に対しまして、ご意見、ご質問はありませんでしょうか。</p> <p>ただいま説明がありましたけれども、今市役所の巖原本庁の玄関ホールにボトルキャップを集める熊の形をしたモニュメントを設置し、熊のおなかでフタを回収しております。</p> <p>そのフタをまた大丸の方に送るんですけども、それを基に今度クリスマスツリーのイルミネーションの飾りを作り、11月11日の点灯式は私も行こうと思っております。</p> <p>ご意見等はありませんでしょうか。それでは質問等もないようでございますので、次の議題で、「子供たちのふるさと教育に求める成果について」を議題といたします。</p> <p>担当部署より説明をお願いします。</p>
教育部長	<p>議題4の子供たちのふるさと教育に求める成果につきましては、教育委員会学校教育課の担当となりますので、私の方からご説明いたします。</p> <p>このふるさと学習につきましては、市内の小・中学校全てにおいて取り組んでおります。</p> <p>ふるさと学習全体計画というものを各学校で作成し、各学校の配布されています教育要覧、学校要覧にて伝えているところでご</p>

	<p>ございます。その中で、朝鮮通信使に関する学習内容については、市内小中学校の共通教材として指定しております。</p> <p>ご質問のその成果についてでございますけれども、一応考え方といたしましては、対馬の自然や歴史、文化、環境問題など題材にした学習を通して、対馬の良さ、魅力を理解し、ふるさと対馬を愛する心情を育てる。また、対馬の未来を考えることを通して、予測困難な社会を生きぬくことができる資質、能力を身につけることを求めているとしております。自分で考え、対応する力を身につけていただければとの思いでふるさと学習を進めているところでございます。</p> <p>簡単でございますが、これで終わります。</p>
委員	<p>すいません。これは私がお願いしたものなので、非常に意地悪な書き方をさせていただきました。</p> <p>今、部長が言われたゴールというのは私も理解をしているんですけれども、私が伺いたいのはその先なんです。子供たちが小学校・中学校・高校まで、市の管轄で見れば中学校までですけど、中学校卒業したあとに高校・大学と出て、市としてといいますか、対馬としてはその島外に出たりとか、進学していった子供たちに対してどうなってほしいのか、っていうところをもっとはっきりした方がいいと思うんですよ。</p> <p>要は、こっちに帰って来いよっていうのを、もっとはっきりアピールした方がいいんじゃないかと思うんですね。</p> <p>要は、ふるさと学習で対馬ってすごいところなんだよって素晴らしい文化とか歴史とかあるんだよっていうのは、もうずっと繰り返してやってるので、対馬を大好きな気持ちっていうのはものすごくあると思うんですけど、それがじゃあ今度対馬の活動、対馬の経済活動だったりとか人口とかっていうところでどう生かしていけるかっていうところをこれから考えていかないといけないと思いますね。</p> <p>例えば、コロナ禍のときに他の自治体では島外に出た方にお米を送ったりとか、その地域との関わりっていうのをもうずっと持たしたわけですよ。今度は教育部局だけではなく他のところ、例えば違う部署の方が、そこの部分に関わっている。</p>

	<p>例えば、対馬の産品を大学で向こう行った人たちにちょっと送ったりとか、総務部だったら広報つしまを定期的を送ったりとかして、対馬との関係を外に出たとしても繋ぎとめておいて、何かあったときに戻ってくるっていう考え方とか、委員さんが言われたように、2拠点生活で対馬との関わりを持つとか、自分が今向こうでやってる仕事の中で、例えば環境問題とか海ゴミの関係で、商社にもし勤めたら対馬との取引をするとか、多分そういういろんな関わり方ができると思うんですけどそういうのをもっと行政としてアピールしていく。</p> <p>そのためにこういうことができるんだよとか、こんなことをやっていきたいとかっていうところも、やっぱり教育委員会だけじゃなくて他の部署としても、考えていくってことを言った方がいいんじゃないかなっていうことで、その、ふるさと教育に求める成果がこういうことを求めている、それこそ漁師さんを増やしたいとかでもいいと思うんですよ、漁師さんを増やしたいとか、後継者を増やしたい、じゃあ、そのためには、漁師さんだったら水産の勉強、こんな勉強したらいいですよとかっていう提案ができたりとか、地元の商売されてる商工会の人だったら、自分たちのもし後継者とか次の代で入ってくるんだったらこういう勉強しとったらいいよとかっていうのも付加して情報としてどんどん流し込んでいくところですかね。</p> <p>今Uターンという言葉は、突然変異的に対馬に戻ってきたっていう感じのイメージが強いと思うんですよ。じゃなくて、やっぱり何かあったら戻ってきて、で関わるっていうところを必ずベースにあるような格好で何か物事の作り込み方を始めていった方がいいんじゃないかなっていうところで、すみません意地悪な質問をさせていただきました。</p>
市長	<p>教育部長の方から何か問いに対して、ありませんか。</p>
教育部長	<p>はい、ご意見ありがとうございます。教育委員会としましては担当する部分が小中学校、義務教育課程になりますので、その子供の時代にどういった情操教育といいますか、どういった意識付けをしていくかっていうのが、まず私達も大切なご指摘かなと思います。</p>

	<p>それから、現状今それぞれ学校でそのふるさとに対する自然とかいろんな仕事やってる方の体験学習とか、いろいろな学校で取り組んでいますので、まずはその郷土対馬を愛する気持ちを植え付けていくのが一番かなと思います。</p> <p>その後、先ほど言われた郷土を選ぶのか、また一度出て対馬がいいと帰ってくるのか、その根本となる意識付けとといいますか、気持ちをそれぞれの子供たちの中に植え付けていくことが大切かなと思います。よろしいでしょうか。</p>
市長	はい。他にご意見ご質問等はありませんでしょうか。
委員	<p>私もふるさと教育については知識不足はあるんですけど、対馬はすごく歴史もあるし自然が豊かで、良いところばかり伝えるのじゃなく、子ども、高校生くらいになったときにどうしていきたくかも踏まえたふるさと教育というか、それで実際に自分でできるアクションまでちゃんと自分でできる経験を得るまでにしてあげば、この島でやりたいこと見つかったりもするのかなと思います。</p> <p>いいとこだけ見るんじゃなくて、課題とかを含めたふるさと教育で、それに対して実際に何でもやろうと思えばやっていいんだよって思える意識。ゴミがいっぱい増えたら嫌だったら自分たちでポスター作ろうってみんな提案して作って実際にやるみたいな経験ってすごく大切で、子供の頃の経験って大切かなと思っています。</p> <p>そういうのがあったらいいなと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にご意見ご質問等ありませんでしょうか？</p> <p>この問題についてはですね、先ほどからもお話がありますが、やはり小さいうちから対馬人という意識付けとといいますか。</p> <p>自分のふるさとは本当に対馬の素晴らしさは歴史・文化、こんなものがあるんだよと人に自慢できるような、そういったところをもう少し自分達で見つけながら、自慢できるような教育体制を敷いていかなければならないという意味合いで今教育委員会の方でもふるさと教育を重視しているというふうに思っております。</p> <p>他にご意見等ありませんでしょうか。</p>

<p>しまづくり推進部長</p>	<p>今先ほど教育部長が言ったように、いかに郷土愛を育むかというところが大事だと思ってるのは皆さん一緒に、今、しまづくり推進部でSDGsの推進ということでやってるんですけども、その中のESD教育ということで、対馬高校の方にも数年前からずっとSDGs推進課の職員が行って、一緒に研究したりとか、高校生にいろいろ提案をしてもらったりとかいうやり取りもしてますし、そして最近ではそれを豊玉高校、上対馬高校にも広げていきたいという思いもあります。</p> <p>そして、中学校の方にも出張してESD教育、その中でSDGsの推進ということで、対馬の自然とか文化とか素晴らしいんだよっていうところを深めていく教育っていうところも教育委員会と別立ってやってはいますので、そこら辺ももっともっと今まで以上に力を入れて郷土愛を育みたいというふうには考えてますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>比田勝市長</p>	<p>はい。今ですね事務局の方がここで10分程度の休憩をとるところでございますので、ただいま時計で35分ですから、10分程度休憩をとらせていただきます。</p> <p>(休憩中)</p> <p>はい、時間までもう少しありますけども、皆さん揃われておりますので、早速進めたいと思います。</p> <p>続いて議題で「中学校の部活動について」を議題といたします。担当部署より説明をお願いいたします。</p>
<p>教育部長</p>	<p>引き続き教育委員会学校教育課の担当となりますので、私の方から説明させていただきます。</p> <p>中学校の部活動のあり方についてでございますが、今後の中学校の部活動のあり方につきましては、今日、部活動の地域移行が話題になっております。</p> <p>まず、部活動の地域移行の国、長崎県、対馬市のスケジュールについてご説明させていただきたいと思います。</p> <p>資料の31ページをご覧ください。</p>

中学校の部活動の在り方になります。この資料には、国のスケジュールを水色で長崎県のスケジュールを黄色で対馬のスケジュールを赤色で示しております。わかりにくいかと思えますけども、上段の平日の部活動の地域移行については、令和8年度以降に方向性が示される予定となっております。

中段の休日の部活動の地域移行については、国が令和4年度から長崎県が令和6年度から段階的に地域移行を進めまして、令和7年度までに完了する予定となっております。

対馬市におきましては、令和5年度から部活動のあり方に関する検討委員会を設置いたしまして、円滑に移行するための協議を現在も行っております。現段階では、令和7年度から段階的に地域移行を進め、7年度末までに完了するように計画しております。

国、県、市ともに令和7年度までに地域スポーツ活動へ移行する計画となっておりますが、国の方針におきましても、当初は令和7年度というのがあったんですけども、それぞれ地域の状況に応じて、できるだけ速やかに方向性も出ております。

下段の地域スポーツ活動の欄につきましては、それぞれの基準に応じて地域スポーツ活動が増加していることを示しております。

次に、32ページをお願いします。

この資料には、対馬市内の中学校の部活動取組状況を示しています。上段は運動部、下段は文化部です。

運動部については、部は設置しているものの、部員がいない部もあります。

また、学校によっては、生徒数が少なく男女それぞれ一つの部しか設置できないために希望する活動を選択できないのが現状でございます。部活動の地域移行することによりまして、このような現状が改善されることが期待されております。

最後に、33ページでございますが、対馬市においては、地理的な特徴から、活動場所までの移動に時間と労力を要します。また、民間のスポーツクラブ等の活動が一部の競技に限られております。

これらのことを踏まえまして、休日における部活動の地域移行の運営主体として、資料に示しております6つの形態で実施していくことが望ましいのではないかと考えております。

まず、一つ目としまして、保護者会を中心とした各学校単位で行う地域クラブ活動です。学校単位で保護者会を中心としたクラブを立ち上げて、活動していくことで、活動場所までの移動距離が短くなります。

また、平日の学校活動との連携がしやすく、学校とクラブとの情報共有が円滑になると考えられます。

二つ目が、保護者会を中心とした近隣の複数の学校が合同で行う地域クラブ活動です。

単一校では活動人数が少ない場合や、指導者の確保ができない場合は、近隣の複数の学校の保護者会を中心としたクラブを立ち上げて活動することが考えられます。

三つ目です、既存のクラブや道場で行う地域クラブ活動です。剣道やサッカー等のように既に道場やクラブで活動を行っている競技については、これまでどおり既存のクラブや道場における活動を継続していく。また、新たなクラブ等の立ち上げも考えられます。

四つ目ですが、競技団体強化練習会等の人材育成の取組になります。各競技団体において、ジュニア育成を目的とした強化練習会等を実施し、クラブを立ち上げるのが難しい人の活動を支援することです。

ただし、競技団体の活動を定期的実施していることは困難であると考えられるため、不定期での活動とするが、できる限り多く実施いただけると、ありがたいと考えております。

五つ目です。高等学校との連携です。

対馬内にある三つの高等学校、対馬高校、豊玉高校、上対馬高校の受け入れが可能な競技については、連携を検討していきたいと思えます。

六つ目、最後になりますけども、市の教育委員会主催の体験教室です。現在も生涯学習課が主催するスポーツ教室や、県立対馬青年の家が主催する体験教室等の取り組みを行っております。

これらの取組をさらに充実させて、マリンスポーツなどの多様な競技の体験教室が、誰もが楽しく活動できるキャンプやレクリ

	<p>エーション等の実施を検討することで、いろいろな活動が実施可能となるのではないかと考えております。</p> <p>これらの活動を学校や生徒の実態に応じて適切に組み合わせて運用しておくのが望ましいのではないかと、現段階では教育委員会では考えております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
市長	<p>はい、それでは、ただいま議題5の中学校の部活動について説明がありましたけれども、このことに対しまして皆様からご意見、ご質問等があれば挙手のうえお願いをいたします。。</p> <p>はいどうぞ。</p>
委員	<p>他の委員さんに聞いてもいいですか。</p> <p>今は地域移行ということになりますけれども、スポーツ推進委員さんとしては、どのように受け止めてあるのかっていうのと、PTAとして保護者としてはこの流れっていうのは理解っていうか準備されてあるような保護者の方の考えいうところ、どのように捉えているのかってそれぞれの立場で聞いてみたいのですが。</p>
委員	<p>私のほうから。私も実際中学生の子どもがいるんですけども、この4月に一度中総体に出るためにクラブチームで出るのが、学校の部活動としてでいいのか、対馬市の中体連でそのチームとして部活動とクラブ活動としてるんですけども、どちらかに絞らなきゃいけないっていう4月の段階でいきなり言われて、まづちょっとその意味が全分ならず、先生方も説明されるんですけど、全く分からない状態で、多分クラブチームの方も中総体が出るようになったので、出たって気持ちはあるんですけども、やっぱり学校の部活動をしているんで、やっぱり学校中心になってしまうので、皆さん部活動を選んだので、クラブチームの方はほぼ誰もやらずに中体連を迎えたんですけども、指導者に関しても、ある部活は外部コーチに来ていただいているのでよく指導していただいている部分もあるんですけども、その、まだ地域移行っていう言葉が全然なんかこう、説明っていうのがあまり中学校でもなされてなくて、ちょっとまだ私自身もわからない部分がたくさんあるんですよ。</p> <p>なので地域移行されたら、もうそういうふうになりますよっていうはっきりした何かこう、もうちょっとわかりやすい言葉で説明していただけたら、なんか周りの保護者とかもいいのかなどは</p>

	<p>思うんですけども、資料を見ている、いまいちピンとこないところが多いなというのがあります。</p> <p>そして自分の子供の入ってるクラブチームは、他の中学校から来てる子ばかりたくさん4校、5校ぐらい集まってきてるんですけども、学校に当該競技の部活動があっても、チームとして存続できないぐらいの人数になってるそうなので、やっぱり試合ができないところも結構多くなってきている部分があります。</p> <p>なので、指導者なのか、やっぱりそれぞれ人気のスポーツがあるからなのかちょっとわからないんですけども、部活が成り立つように改善されて、たくさん試合が行われて楽しくなるのかなっていうのはちょっと最近思っているところです。</p> <p>ちょっと質問の意味合いと変わってしまった答えになってしまったんですけども、中学校、やっぱり部活動をまず選ぶところから始めるんですけども、何かちょっといろいろ地域移行とかいう言葉が出てくると、ちょっと悩んでしまう部分があるところだと思います。</p>
委員委員	<p>市PTAの方からなんですけど、私自身も子どもが部活動に入ってるんですけど、もう人数的にもギリギリで、部員として、何人いないと試合に出れないとか。</p> <p>でも、小学校はどんどん減ってて、入ってくる子達が少ない分もうそれこそ存続できないっていうところで。</p> <p>私はその地域スポーツ活動っていう意味合いがよくわからなくて、プリントでこういうふうになりますみたいなことは書いてあるけど、じゃあ、平日は学校での部活なのか、休日は外部、地域の人ですとか、学校の人に来て指導してくれるのか、結局、先生たちの負担を減らすために、そういうのも必要だけど、そういう意味だけじゃなくて、子供たちが減ってる分、その移行っていうんだったら、どういうふうに考えていったらいいのかと思ってます。そういうところはちょっと今地域スポーツ活動への移行ということは理解してない部分もあるし、たぶん子供たちも説明されても分からないと思います。</p> <p>どういうふうな体制になっていくのか、ちょっと私もわからないんですよ。</p>
委員	<p>人数が少ないというところが、まず対馬市の学校には大前提としてあるということなので、地域移行イコール多分、社会体育</p>

	<p>化していくんじゃないかなというふうに、これを見ながら理解したんですね。</p> <p>そこでいくと、やっぱり社会体育のコーチだったり指導者の方が子供たちにどう接していくかっていうところが非常に重要になってくると思うんですね。</p> <p>そこでいくと、今しまづくりの方でもやっている対馬3高校の魅力化事業で招聘されてる方にコーチング、コーチとしての心構え、コーチングの指導とかっていうのをしっかり社会体育の中で、指導者の方にやっぱりやっていく必要っていうのも一つあるかなっていうのと、あとすごく言いにくいんですけども、社会体育の人たちが学校で子供たちと関わっていくときの資質といいますか、具体的な例を言うと、例えば体育館とか、競技場とかの玄関とかでかなり喫煙されてるといって指導者とかが社会体育の方がいらっしゃるんですね。</p> <p>そういうところも含めて、やっぱり準備をしていく、子供たちの準備もなんだけど、受け入れる側の準備もやっていかないといけないんじゃないかなと。別にその喫煙することが悪いっていうわけじゃなくて、やっぱりその辺の心構えとかっていうところをしっかりと両輪でやりながら進めていかないといけないんじゃないかなっていうところを思って。</p> <p>逆に言ったらこれって先ほど言われるように学校の先生たちの負担軽減のためっていう名目ですけど、対馬からすれば、少ない人数が集まって競技ができるって非常にメリットでもあると思うんですね。</p> <p>それでいくと、壱岐商業と上高、対高の合同チームでこの間、野球チーム作ってベスト8まで行った、やっぱこれって未来系としてはいい方向性だと思うんですね。その部分はしっかり今考えてる大人たちが高校生に導いていく必要がある。長年、社会体育で剣道を教えていらっしゃる、市長どうですか。</p>
市長	<p>そうですね。</p> <p>私ももうかれこれ20年間県道クラブの指導してきたわけですけども、やはり、子どもたちの成長に合わせた指導というか、配慮をする必要がある。</p>

	<p>体力を見ながらの指導をしていくことは、私は本当に大事なことはないかなというふうに思いながら指導しています。特にもうスポーツといっても、本当に試合ももちろんございますので、試合で負ければ悔し涙する子どももちろんいます。</p> <p>そういうこともですね、大事な経験になるのではないかなという思いを持ちながら、私の指導方針としてはです。</p> <p>私は、褒めて褒めて褒め上げながら、その子が持っている能力を引き上げるというような指導方針で私は今まで指導してまいりました。</p> <p>そういうことでちょっととりとめのない話になりましたけども。もう一つ今、委員の方から若干話ありましたけれども、今対馬の3高校の魅力化事業の中で中学校を卒業した3割ほどが都市部、要するに本土の高校に行かれます。</p> <p>これを少しでも阻止しようと。要は、対馬に残る子供たちを増やしたいという思いで、陸上競技の指導者を招聘して陸上競技の活性化を目指しているところであります。</p> <p>それで、私の夢としましては、対馬の3高校で京都都大路をぜひ走ってもらいたいという思いを持っております。こういうことでしたらもう本土の高校に行かなくても対馬の高校で努力すればそういったことも願いが叶うんじゃないかなという思いを持っておりますので、このような事業も令和5年度から始めているところであります。</p>
委員	<p>地域に移行するということになると、やっぱり地域の中で応援するというのも大事になってくるので、地域全体で盛り上げる必要性はあると思います。何かいろんな活動をするにあたっては、やっぱり地域全体で応援する、支えてあげるっていう姿勢とか、そういう政策、取組っていうところもあわせて進めていくべきだと思います。学校だけだったのが、地域に広がっていくことによって、地域の人たちがサポートしていくという流れに持っていくと、もっとポジティブな取組として進んでいくと思います。</p>
教育部長	<p>すみません。この地域移行につきましては、今お話を伺って、周知が進んでない状況です。と言いますのが、これに取り組んだのが昨年度からで、地域移行の検討委員会等を開きまして、今進めてるんですけども、令和4年度末で第1次提言をいただいたと</p>

	<p>きに、その提言書の中で、対馬市で推進していく上での課題とかを拾い上げていく必要があるということで、現在は、その課題を拾い上げた状況です。</p> <p>今おっしゃったようないろんな同じような課題が委員会の中でも上がっておりまして、それについて、今年度同じ検討委員会を開いて、それをどうやって解消していくかを決めて修正していく。</p> <p>ですから、今後においてはそういった委員会とか、この事業を進めている状況とかも何らかのSNSやホームページとか広報とかにより、皆さんにお知らせすることも大切なのかなとお話を聞いて思いました。一応対馬市としては、計画では令和6年度に各学校に検討委員会でまとめた内容等を説明していくようにしています。令和7年度からまず土日の週末の地域移行から進める予定としています。</p> <p>これができるような環境ができた学校から始める予定で、そういう環境は無理に進めるということではありませんので、移行ができるような状況になってからそれぞれ対応していく計画をしていますのでよろしくお願いします。</p> <p>地域スポーツと比べたときに、形によっては保護者さんの皆さんに負担が生じる場合もありますし、外部の指導者をお願いした場合にはその指導に対する謝金とか、あるいは送迎にかかる経費とか発生してまいりますし、ですからこういった形態がいいのかという部分も課題としてあがっておりますので、その辺も保護者の負担とか含めて検討させていただきたいと思えます。</p>
市長	<p>よろしいでしょうか。ほかにご質問ご意見等ありませんでしょうか。</p> <p>それではですね、質問もないようでございますので以上をもちまして本日の議事を終了します。</p> <p>懇話会の円滑な進行にご協力いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>それではこの進行を事務局の方にお返しします。</p>
政策企画課長	<p>市長、議事の進行を本当にありがとうございました。</p> <p>続きまして、最後のその他に移りたいと思えます。全体を通して本日の議題や一番最初に申しました、令和4年度の部分について</p>

	<p>でも結構ですし、本日の議題に上がっていない部分でも構いません。回答ができるかどうかはちょっと不確かですけども質問を受け付けたいと思いますので、ご質問があれば挙手をお願いいたします。</p>
委員	<p>観光事業者として、厳原市街地への観光バスの乗り入れとその取り扱いについて、今韓国人観光客と同じぐらい日本人観光客もバスを利用して来ているんですけども、なかなか市街地エリアでバスを乗降するところが非常に難しいので、警察との関係もあるし、安全面の関係があるということで、いろいろトラブルが発生してますけど、その辺り、乗り入れに関して何か解決策ってというのが市として方向性があるのかどうか伺いたいのですが。</p>
観光交流商工部長	<p>委員のご質問でございますが、非常に難しいです。ご存じの通り厳原の市街地には空いてるスペースがなくて、バスもどうにかバス事業者さんの方がそれぞれ努力されて停める場所を探されているようなところです。</p> <p>議会の一般質問でも度々取り上げられておまして、旧厳原幼稚園の跡地を使えないかとかいろんな質問いただいておりますが、そこを使えば一番いいんですが、ご存知のとおり史跡ということで、文化庁の規制がかかっておりますので、ここが少し難しいところです。</p> <p>市の方といたしましては、今の朝鮮通信使歴史館の隣の民有地を買い上げてそこに駐車スペース、駐車場、バスが3台ぐらい停められる予定で今動いています。</p> <p>来年度には駐車場の運用を始められると思いますので、当面はそこを中心に各宿泊施設へのアクセスがどうかという問題もありますし、宿泊施設から乗り降りする場所がアクセスとしてふさわしいかというところまた別の問題もおこってくると思います。</p> <p>お答えに苦慮するような状況でございますけれども、今のところ市が取り組んでいる状況としたら通信使歴史館の駐車場をうまく活用していくということでもあります。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい、宿泊施設っていうのは東横インのことになりますかね。</p> <p>こういう分野、市内中心部にある宿泊施設からのアクセスということですね。</p>

<p>観光交流商工 部長</p>	<p>はい。 今民間の事業者さんがそれぞれ努力されて、借りたりしていると思うんですけども、そこまで少し距離があるかなと思っていますので、その辺りは私達も努力していかないといけません、自助努力といいますか、民間のかたのご協力をいただきながらうまく進めていければいいなと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。民間の努力としては、要は駐車場から目的地までガイドしながらとか、そこに至るまでに物語を作っていけばいいということになるので、その辺りはまたいろんなところで協議をしながらということになると思うんですが今、歴史館の裏をってということ言われたので、これは帰ってガイドの人たちにもこういうのがもうそろそろできるよっていうのは伝えたいと思います。ありがとうございます。</p>
<p>政策企画課長</p>	<p>その他に何かご質問等ございませんでしょうか。 はい。</p>
<p>委員</p>	<p>失礼します。SNSの話がちょっと最初の方に出てたので、ちょっと一度お聞きしたいことがあって、対馬市のLINEとか色々あって、ホームページの中にイベント一覧ってところがあるんですけど、中々そこに、表立った部分はLINEとかでピコンと来るんですけど、ホームページの中のイベント情報のところの情報がちょっと薄いのかなって思うところがありまして、LINEとかインスタとかしょっちゅう見れる人であればこれがあるなってことがわかると思うんですけど、例えば何か対馬市に興味があってアクセスして、何かイベントがあるのかなって見た方が、あれ何もないじゃんてなるようなことにつながるのかなと思うので、その辺りのページもそういったスマートフォンからとかも見れるとは思いますが、その辺りもいろいろな課であったりとかいろんなイベントされてると思うので、一つ集約するところとしての運用も進めていきただけたらなと。 ちょっと感じたところで意見を述べさせていただきました。</p>
<p>総務部長</p>	<p>ホームページのイベント情報ですかね。この分についても私の方も気になってまして、結構度々ですね。まず各部署の方で直接入れてると聞いてるんですけど、それがなかなか入力してもらえていないということで、議会の方からも話はあったんですけど、頻繁にですね。例えば異動とか何かあって、それがちょっとできなかった面もあるかとは思いますが、その当たりも担当</p>

	<p>が直で入れる形で持っていきたいなと、その辺の指導をしていき たいなと思ってます。</p> <p>確かにイベント情報、ちょっと情報が足りないなと思っておりま す。</p> <p>申し訳ありません。</p>
委員	<p>よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>ごめんなさい。この関連で。何をもってイベントと考えるかっ ていうところだと思うんですね。</p> <p>いろんな取組をやってると思うんですけど、何かお客様を集め るのがイベントだけではなくて、例えば何か講習会ありますよと か、こんな取組してますよとかっていうところを含めて、だと思 うんです。</p> <p>その職員さんからすると日常のありふれた業務の一つだから、 そんなに殊更、外に伝えるのではないと思うんですけど、我々と しては、そういったところが多分知りたい。なので、そういう何 気ない人に別に伝えなくてもいいかなっていうところをあえて伝 えるような、何か導き方っていうところを市職員の皆さんにはお 伝えいただければなという風に思います。</p>
総務部長	<p>そうですね、祭りとか大きいイベントだけじゃなくて、例えば どこどこで検診がありますよとか、もう少し小さい情報までちょ っと入れていってもらいたいなと自分も考えておりますので、ま たそのあたりもちょっと各部署にですね徹底していきたくと思 います。</p>
政策企画課長	<p>その他何かございませんでしょうか。</p> <p>はい。ご質問の方もないので会議の方を閉じさせてい ただきたいと思います。</p> <p>以上をもちまして、令和5年度対馬市しまのみらいづくり懇話 会を終了いたします。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、たくさんの貴重な意見をいた だきまして誠にありがとうございました。</p> <p>お帰り際には、事故等のないように安全運転でお願いいたし ます。</p> <p>またアンケートの方をお帰りの際に受付の方にご提出いただき ますように、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>皆さんお疲れ様でした。</p>

	ありがとうございました。
--	--------------